

社協ゆがわら

■発行■

社会福祉法人
湯河原町社会福祉協議会
平成31年4月1日

■編集■

広報担当委員会
湯河原町中央四丁目12番地5
TEL 0465-62-3700
FAX 0465-62-5150



2019
No. 98



「動物ふれあい教室」 H30. 11. 16開催（みやのうえ保育園）

今回の動物ふれあい教室は、みやのうえ保育園で実施しました。移動動物園の飼育員さんから、動物たちと仲良くなる方法を教えてもらい、ウサギ・モルモット・やぎ・ひつじ・ホロホロ鳥など15種類約100頭の動物たちとのふれあいを楽しみました。天候にも恵まれ、園児と近隣の親子あわせて約120名のご参加をいただきました。



平成30年度 共同募金のご報告

『赤い羽根募金』及び『年末たすけあい募金』が終了し、町民の皆様より寄せられました募金は、次のとおりとなりましたのでご報告いたします。

募金くださいました町民の皆様、募金活動へのご理解ご協力、誠にありがとうございました。

1. 赤い羽根募金について

(敬称略)

募金区分	金額(円)	募金区分	金額(円)
戸別募金	1,800,000	法人募金(20件) ※受付順にて掲載	165,000
奥湯河原区	39,000	湯河原中央温泉病院	10,000
温泉場区	124,000	(有) 魚 辰	5,000
宮上区	137,000	東教学院・TOPゼミ	5,000
宮下区	337,000	医療法人社団こまつクリニック	30,000
城堀区	186,000	ニューライフ湯河原	10,000
門川区	178,000	城 願 寺	10,000
鍛冶屋区	231,000	醍 醐 院	5,000
中浜区	134,000	(株)長田左官工業	10,000
吉浜区	218,000	ゆがわらホームヘルプ	10,000
川堀区	138,000	(有)茂登山商店	10,000
福浦区	78,000	(株)西湘畜産	5,000
街頭募金	30,172	合資会社ふみや製菓所	5,000
10月2日・10日 実施		五 所 神 社	10,000
地域作業所『たんぼぼ』	17,388	魚 松	5,000
児童養護施設城山学園	12,784	(株)エコーブ関東ゆがわら店	5,000
学校募金	38,423	こごめの湯	5,000
湯河原中学校	20,435	湯河原カントリー倶楽部	5,000
湯河原小学校	6,168	湯河原ライオンズクラブ	10,000
吉浜小学校	4,556	湯河原燃料企業組合	5,000
東台福浦小学校	7,264	杉山管工株式会社	5,000
職域募金	38,671	その他の募金	12,544
町役場(職員募金・募金箱)	23,275	グレースタウン自治会	11,500
湯河原病院(募金箱)	5,340	匿名 1 件	1,042
カフェたんぼぼ(募金箱)	614	利 息	2
湯河原胃腸病院(募金箱)	312		
社協事務局(職員募金・募金箱)	9,130		
合計額			2,084,810円

『赤い羽根募金』は神奈川県下の様々な福祉活動を実施する各社会福祉施設・団体や社会福祉協議会に配分され福祉事業に活用されています。

2. 年末たすけあい募金について

(敬称略)

募金区分	金額(円)	募金区分	金額(円)
戸別募金	2,283,780	職域募金	4,225
奥湯河原区	40,000	社協職員	4,225
温泉場区	70,000	その他の募金	10,000
宮上区	244,800	グレースタウン自治会	10,000
宮下区	100,000		
城堀区	145,200		
門川区	126,000		
鍛冶屋区	391,000		
中中央区	248,900		
吉浜区	469,500		
川堀区	279,500		
福浦区	168,880		
合計額		合計額	2,298,005円

3. 年末たすけあい地域配分について

児童養護施設城山学園園児(お年玉)	(46名)	138,000円
湯河原遊ぼう会(湯河原肢体不自由児の会)		30,000円
よつばの会		30,000円
ひとりぐらし高齢者の昼食会ボランティアグループ	(3地区)	100,000円
福浦かもめサロン		30,000円
金曜会		30,000円
知的障がい児者施設通所者等交通費半額助成	(24名)	1,422,918円
配分額合計		1,780,918円

心配ごとと行政相談室 毎月 10日 宮下会館 / 20日 文化福祉会館(吉浜) 午後1時から4時まで(予約不要)

行政相談委員や人権擁護委員、民生委員児童委員が家庭内のもめごとや心配ごと、身の回りのことなど何でも相談をお受けしています。行政に関すること(年金や道路、役所の窓口対応)もお受けしています。相談は無料で、秘密は固く守られます。お気軽にご相談ください。

平成30年度 賛助会員の皆さまをご紹介します

【平成30年11月1日~平成31年2月28日】 敬称略

湯河原町民生委員・児童委員協議会

湯河原保護司協議会

心温まるご寄付ありがとうございました

【平成30年11月1日~平成31年2月28日】 敬称略

●社会福祉基金●

日本福音ルーテル湯河原教会 22,265円

●一般寄付金●

ガールスカウト神奈川県連盟第9団 3,280円

●寄付品●

マックスバリュ東海(株)

マックスバリュ湯河原店

車イス 1台(写真)



第42回 神奈川県福祉作文コンクール

本コンクールは神奈川県共同募金会・神奈川県社会福祉協議会の主催で、小中学校を対象として募集しました。今年度は10,370編(湯河原町から小学生30編)の作品の応募がありました。各地区審査会を通過した80編(湯河原町からは小学生2編)が、県審査会にて審査された結果、湯河原町から入選者がありましたのでご紹介いたします。

小学生の部 優秀賞 「駅〜可能性を広げる場所〜」

東台福浦小学校 5年生 石井 千波さん

優秀賞、おめでとうございます!

※作文は原文のとおり記載いたしました。

「駅〜可能性を広げる場所〜」

東台福浦小学校 五年 石井 千波

ある日、私がおばあちゃんと一緒に駅で電車を待っていると、二人の駅員が大きな鉄板を持って、ホームに向かってきました。そして電車が来ると、ドアのレールに板をひっかけました。すると車いすに乗った方が下りてきました。鉄の板の正体はスロープでした。私は「このようなサービスがあれば障害を持つている人も外出しやすくなるだろうな」と思いました。そこで私は、駅の設備を調べる事にしました。

私は三つのサービスに分けました。一つ目は目の不自由な方です。私達は見る事で情報の多くを得ています。その為、駅の運賃表が点字になっていたり、改札位置を教える誘導チャイムもあります。前に何があるか分からないのはすごく怖い事だと思います。でもこの設備で安心出来ます。

二つ目は耳の不自由な方です。耳の不自由な方は外見からは判断するのが難しい為、困っていることに気付けない場合があります。ですから、係員が筆談で会話するそうです。そしてテロップは、列車の乗り遅れ等を防げるようになっていそうです。不慣れた時に気付いてもらえない事を無くす為に、普段から不慣れた事が何なのか気付けていけたら良いと思います。

三つ目は体の不自由な方です。車いすの方は階段の使用が出来ず、行動範囲がせまくなってしまう。そこで利用するのが車いす対応エスカレーターです。数枚のステップを平らにすることで車いすでも利用出来ます。

駅は色々な人が利用する場所です。その駅が便利になることで、人々が前向きになれます。そして、私達も障害を持つている人も可能性を広げることが出来ます。そんな社会は素晴らしいと思います。私も優しい社会の一員になれたら良いです。